



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニックトー

コード番号 5367 URL <http://www.nikkato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西村 隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 紀ノ岡 隆一郎

TEL 072-238-3641

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	5,874	41.0	601	513.2	615	263.8	343	814.8
22年3月期第3四半期	4,167	△29.2	98	△80.9	169	△68.7	38	△66.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	28.77	—
22年3月期第3四半期	3.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	10,564	7,733	73.2	648.47
22年3月期	9,870	7,557	76.6	633.71

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 7,733百万円 22年3月期 7,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
23年3月期	—	6.00	—		
23年3月期 (予想)				6.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	34.6	880	279.1	900	178.2	490	237.7	41.09

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	12,135,695株	22年3月期	12,135,695株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	211,052株	22年3月期	210,902株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	11,924,663株	22年3月期3Q	11,924,964株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	2
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	2
2.	その他の情報	3
(1)	重要な子会社の異動の概要	3
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3)	会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4)	継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書	6
	【第3四半期連結累計期間】	6
	【第3四半期連結会計期間】	7
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4)	継続企業の前提に関する注記	10
(5)	セグメント情報	10
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4.	補足情報	12
(1)	売上高・受注高および受注残高の状況	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、中国やインド等新興国向けを中心とする輸出やエコポイント制度に代表される政府による各景気刺激策の内需拡大効果で回復基調が見られましたものの、依然として慢性的なデフレ状態や厳しい雇用情勢による個人消費の低迷が続いており、さらには円高の進行に伴う輸出への影響も懸念され、先行きに不安を残す状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは積極的な営業活動を推進してまいりました結果、主力のセラミックス事業は電子部品業界向けの耐摩耗セラミックスの売上高が順調に回復し、前年同期比42.5%の増収となりました。一方のエンジニアリング事業は設備投資需要は盛り上がりがないものの、第3四半期になって漸く大口の売上が計上され、前年同期比36.7%の増収となりましたため、当第3四半期の売上高は前年同期比41.0%増収の5,874,415千円となりました。

利益面では、増収効果に加え、生産合理化に伴う製造原価率の改善に注力しましたことにより、営業利益は601,092千円、経常利益は614,774千円、四半期純利益は343,101千円とそれぞれ大幅な増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債・純資産の状況

総資産は増収に伴う売掛債権の増加および短期資金運用に伴う有価証券の増加で前年度末比7.0%増の10,564,046千円となりました。負債も増収に伴う買掛金の増加や、未払消費税等、法人税等の増加、前受金等の増加により前年度末比22.4%増の2,831,263千円となりました。純資産につきましては、その他有価証券評価差額金のマイナスがさらに膨らみましたが、繰越利益剰余金の増加により前年度末比2.3%増の7,732,783千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は1,649,117千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益は増加しましたものの、増収に伴う売掛債権の増加や法人税等の支払いにより前年同期比26,471千円減少の727,454千円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年の東山工場の大型の設備投資が終了し、設備投資を抑えましたため前年同期比229,734千円増加の601,555千円のマイナスとなりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額が減少しましたため前年同期比27,157千円増加の67,893千円のマイナスとなりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において平成22年10月22日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

(注) 本資料に掲載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

①たな卸資産の実地棚卸の省略

当第3四半期連結会計期間末の算出に関しては実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎とし合理的な方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務関係)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益がそれぞれ664千円減少し、税金等調整前四半期純利益が29,531千円減少しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,638,564	1,730,578
受取手形及び売掛金	2,706,545	2,200,417
有価証券	332,618	30,533
商品及び製品	586,634	583,311
仕掛品	553,239	535,570
原材料及び貯蔵品	193,992	176,021
その他	100,153	163,031
貸倒引当金	△6,380	△3,999
流動資産合計	6,105,367	5,415,465
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,657,702	1,722,900
機械及び装置(純額)	1,027,711	1,196,842
その他(純額)	527,973	402,740
有形固定資産合計	3,213,387	3,322,484
無形固定資産	19,988	23,078
投資その他の資産		
その他	1,225,418	1,109,258
貸倒引当金	△114	—
投資その他の資産合計	1,225,303	1,109,258
固定資産合計	4,458,679	4,454,821
資産合計	10,564,046	9,870,286
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,140,190	885,177
短期借入金	402,000	402,000
1年内返済予定の長期借入金	201,436	168,512
未払金	225,512	211,893
未払法人税等	172,064	103,340
賞与引当金	98,500	172,500
役員賞与引当金	10,147	13,530
その他	177,260	17,235
流動負債合計	2,427,112	1,974,189
固定負債		
長期借入金	140,542	124,012
退職給付引当金	49,301	41,846
役員退職慰労引当金	112,524	105,208
資産除去債務	33,681	—
その他	68,102	68,152
固定負債合計	404,151	339,219
負債合計	2,831,263	2,313,408

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,221,859	1,221,859
利益剰余金	5,415,165	5,203,235
自己株式	△91,607	△91,541
株主資本合計	7,866,157	7,654,293
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△133,373	△97,415
評価・換算差額等合計	△133,373	△97,415
純資産合計	7,732,783	7,556,878
負債純資産合計	10,564,046	9,870,286

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	4,167,419	5,874,415
売上原価	3,269,652	4,334,635
売上総利益	897,767	1,539,780
販売費及び一般管理費	799,746	938,687
営業利益	98,020	601,092
営業外収益		
受取利息	3,152	3,108
受取配当金	13,765	12,956
助成金収入	40,213	1,161
その他	27,693	16,048
営業外収益合計	84,825	33,273
営業外費用		
支払利息	10,075	9,377
株主名簿管理人変更費用	—	5,378
その他	3,795	4,836
営業外費用合計	13,870	19,592
経常利益	168,975	614,774
特別利益		
貸倒引当金戻入額	105	—
特別利益合計	105	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	28,867
固定資産除却損	—	8,000
固定資産廃棄損	4,321	2,609
設備移転費用	40,786	—
退職給付制度改定損	37,102	—
特別損失合計	82,210	39,476
税金等調整前四半期純利益	86,870	575,297
法人税、住民税及び事業税	21,600	228,000
法人税等還付税額	△2,225	—
法人税等調整額	29,989	4,195
法人税等合計	49,364	232,195
少数株主損益調整前四半期純利益	—	343,101
四半期純利益	37,505	343,101

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,511,488	2,025,320
売上原価	1,170,164	1,474,353
売上総利益	341,323	550,967
販売費及び一般管理費	270,508	313,049
営業利益	70,815	237,917
営業外収益		
受取利息	951	941
受取配当金	3,403	3,426
株主名簿管理人変更益	—	5,502
助成金収入	8,458	454
その他	4,321	2,916
営業外収益合計	17,134	13,241
営業外費用		
支払利息	3,297	3,123
株主名簿管理人変更費用	—	5,378
コミットメントフィー	750	750
その他	249	—
営業外費用合計	4,297	9,251
経常利益	83,652	241,908
特別利益		
貸倒引当金戻入額	43	△3,684
特別利益合計	43	△3,684
特別損失		
固定資産廃棄損	3,395	356
退職給付制度改定損	37,102	—
設備移転費用	16,552	—
特別損失合計	57,050	356
税金等調整前四半期純利益	26,645	237,867
法人税、住民税及び事業税	△6,000	59,000
法人税等調整額	21,649	35,422
法人税等合計	15,649	94,422
少数株主損益調整前四半期純利益	—	143,445
四半期純利益	10,995	143,445

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	86,870	575,297
減価償却費	365,302	398,461
投資有価証券評価損益(△は益)	1	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△31,241	2,380
受取利息及び受取配当金	△16,918	△16,064
支払利息	10,075	9,377
退職給付引当金の増減額(△は減少)	20,330	7,455
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△26,218	7,315
固定資産廃棄損	4,321	2,609
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	28,867
売上債権の増減額(△は増加)	88,178	△503,724
たな卸資産の増減額(△は増加)	49,073	△43,229
その他の資産の増減額(△は増加)	322,437	3,956
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,209	252,603
未払消費税等の増減額(△は減少)	△51,987	120,879
その他の負債の増減額(△は減少)	△55,756	31,333
たな卸資産廃棄損	117	4,266
小計	757,376	881,787
利息及び配当金の受取額	17,925	16,866
利息の支払額	△11,457	△11,113
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△9,919	△160,085
営業活動によるキャッシュ・フロー	753,925	727,454
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△302,639
有形固定資産の取得による支出	△827,124	△301,188
無形固定資産の取得による支出	△6,087	△820
投資有価証券の取得による支出	△1,222	△1,424
貸付けによる支出	△3,000	—
貸付金の回収による収入	2,873	2,197
定期預金の預入による支出	—	△150,000
定期預金の払戻による収入	—	150,000
投資その他の資産の増減額(△は増加)	3,271	2,319
投資活動によるキャッシュ・フロー	△831,289	△601,555
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	210,000
長期借入金の返済による支出	△126,614	△160,545
自己株式の取得による支出	△218	△65
配当金の支払額	△168,218	△117,282
財務活動によるキャッシュ・フロー	△95,051	△67,893

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△172,415	58,004
現金及び現金同等物の期首残高	1,593,599	1,591,112
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,421,184	1,649,117

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

（単位：千円）

	セラミックス 事業	エンジニア リング事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,071,160	1,096,258	4,167,419	—	4,167,419
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,071,160	1,096,258	4,167,419	—	4,167,419
営業利益又は営業損失(△)	116,680	△18,659	98,020	—	98,020

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1)セラミックス事業……………粉砕用ボール及び部材、熱処理用容器・道具材、酸素センサ等

(2)エンジニアリング事業…各種電気炉、熱処理装置、応力測定機器、計測制御装置等

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業内容としてはセラミックス事業とエンジニアリング事業に大別されます。セラミックス事業は、工業用セラミックス製品を当社、堺工場及び東山工場で製造し販売するもので、当社の製品は、ほとんどがエンドユーザーである電子部品、食品、薬品、塗料等の各メーカーにおける生産工程で使用されるセラミックス製の道具類、備品、機械部分等の消耗品であります。エンジニアリング事業は、製造工場を持たず、加熱装置や計測機器等を商品として仕入れし販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,375,950	1,498,464	5,874,415	5,874,415
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,375,950	1,498,464	5,874,415	5,874,415
セグメント利益	574,313	26,778	601,092	601,092

3. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差額調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	601,092
四半期連結損益計算書の営業利益	601,092

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 売上高・受注高および受注残高の状況

(売上高)

事業の種類別セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		比較増減額/率	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
セラミックス事業	3,071,160	73.7	4,375,950	74.5	1,304,789	42.5
エンジニアリング事業	1,096,258	26.3	1,498,464	25.5	402,205	36.7
合 計	4,167,419	100.0	5,874,415	100.0	1,706,995	41.0

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(受注高)

事業の種類別セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		比較増減額/率	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
セラミックス事業	3,236,710	73.6	4,479,089	69.5	1,242,379	38.4
エンジニアリング事業	1,161,623	26.4	1,962,596	30.5	800,973	69.0
合 計	4,398,333	100.0	6,441,686	100.0	2,043,352	46.5

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(受注残高)

事業の種類別セグメント	前第3四半期連結累計期間末 (平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間末 (平成22年12月31日)		比較増減額/率	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
セラミックス事業	1,132,286	80.6	1,239,873	66.3	107,586	9.5
エンジニアリング事業	272,972	19.4	630,905	33.7	357,933	131.1
合 計	1,405,259	100.0	1,870,778	100.0	465,519	33.1

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。